



学校だより

9月号 令和6年9月2日発行
江戸川区立下小岩小学校
校長 鶴田麗子

下小岩小学校 学校ホームページURL <https://edogawa.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1310306>



実り多き2学期に

校長 鶴田麗子

今日から2学期。学校に子ども達の明るい笑顔が戻ってきました。夏休みならではの貴重な体験や楽しい思い出を糧に、心も体も一回り成長したのではないのでしょうか。保護者・地域の皆様には、ラジオ体操やお祭り、ご家庭で、子ども達のためにご尽力いただき、ありがとうございました。学校で新たに始めたサマースクールには、多くの子ども達が参加し、それぞれの課題に集中して取り組んだり、学校図書館で友達と楽しく読書したりと、充実した時間を過ごしていました。来年度も継続していきたいと考えております。

この夏は酷暑でした。携帯に登録した環境省 LINE には、毎日のように熱中症警戒アラートの通知が届きました。既に1学期から、外遊びだけでなく水泳指導まで中止となる日もあり、教育活動も影響を受けることが増えてきました。

現在、来年4月の移転に向け、新校舎の建設が急ピッチで進んでいます。予定通りいけば、新年度から新校舎での生活が始まります。ただし、校庭の整備が完了するのは2学期以降になるため、運動会は完成後に実施予定です。施設面、夏の猛暑対策として、水泳学習も1学期の早い時期から開始し、夏休み前には終了することも検討中です。詳細については今後お伝えして参ります。

さてパリ・オリンピックでは、日本選手の活躍が光りました。目標を達成しメダルを獲得した選手、残念ながら及ばなかった選手。一人一人のこれまでの過程に思いを馳せ、テレビの前で一喜一憂しました。なかでも忍耐強くやり抜く姿、ペアや団体戦で、目標達成に向け互いを信じ励まし合い競技する様子に、たいへん心動かされました。

やり抜く力・自制心・協調性などは、学力やIQとは異なり数値化されにくく「非認知能力」と呼ばれています。これらは、社会で生きていくうえで必要な力で、学力を支える土台となる力でもあります。全国学力調査の結果でも、こうした能力が高い子は、学力も高い傾向が見られるようです。学力と共に、非認知能力も育むことが大切と言えます。

やり抜く力・自制心・協調性は、友達と協力しながら学習したり活動したりすることで高めることができるそうです。2学期は、かがやきフェス、生活科・社会科見学、体育大会、日光移動教室など学年集団で取り組む行事や学習がたくさんあります。これらの力を育むには最適の時期です。実り多き2学期となるよう教育活動の充実に努めて参ります。さらに「子どもの挑戦を積極的に応援し、失敗も肯定する」「お手伝いをさせ感謝を伝える」ことも効果的とのこと。ご家庭でも、ぜひ心がけてみてください。